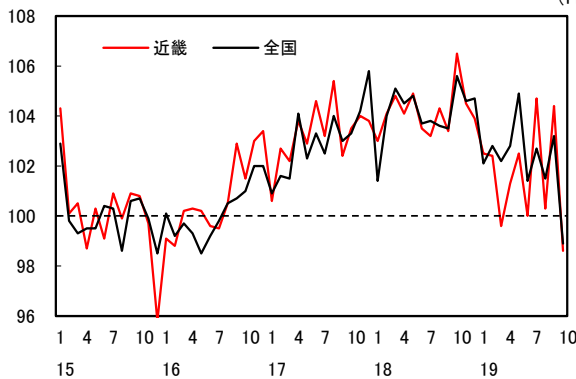


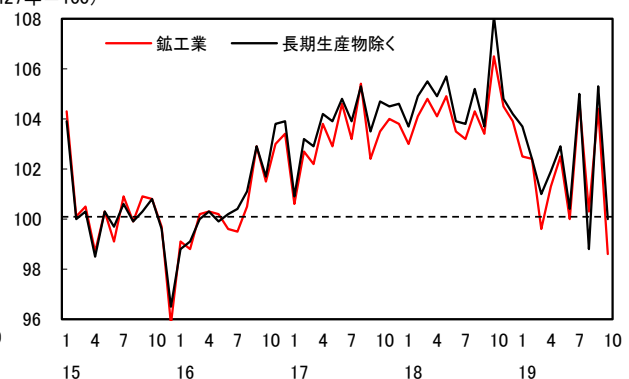
関西の景気トピックス【鉱工業指数（19年10月）】

- 19年10月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（季節調整値）は2か月ぶりの減少となった。業種別には、半導体製造装置などの生産機械を中心に、大きく減っている。一方、蒸気タービンなどの長期生産物を除いた動きも、2か月ぶりの減少となっている。
- 在庫循環の動きをみると、前月の「在庫積み増し局面」から、企業が減産を進め、積み上がった在庫の調整を図る「在庫調整局面」に変化している。
- 生産全体を「電機・電子部品」と「その他の業種」に分けると、10月は電機・電子部品が増加となっている。スマートフォンの新製品や5G関連の生産増が寄与しているとみられるが、米中貿易摩擦の影響が続く中、全体の伸びとしては限定的となっている。

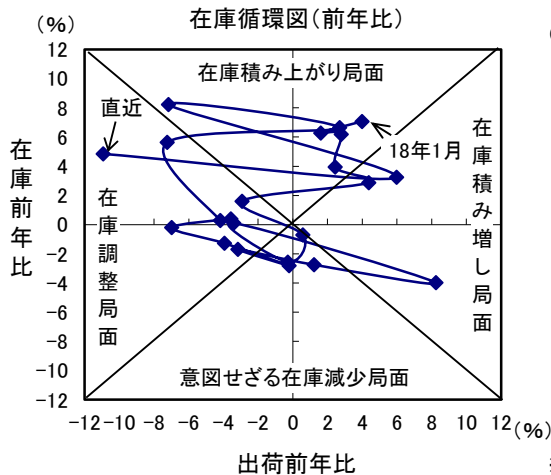
(H27年=100) 鉱工業生産指数の推移(季節調整値)



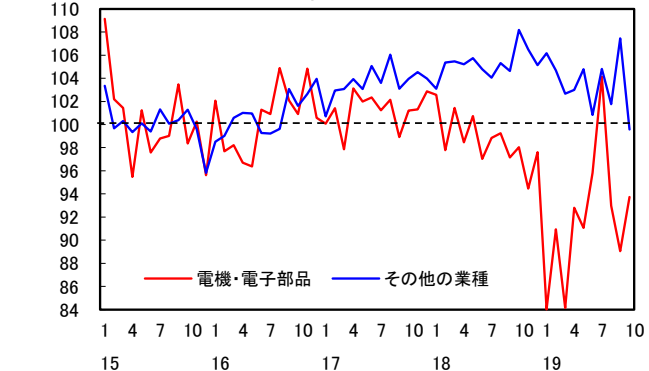
(H27年=100) 【関西】長期生産物を除いた生産指数(季節調整値)



(出所)経済産業省



【関西】電機・電子部品および、その他の業種の推移(季節調整値・推計)



(出所)経済産業省統計をもとに、りそな総研作成
 ※電機・電子部品・・・電子部品・デバイス工業、電気機械工業、情報通信機械工業の加重平均
 ※その他の業種・・・上記3業種を除いたすべての業種

※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。

本件照会先: 大阪本社 荒木秀之
 TEL:070-6633-0038 mail:hd-araki@rri.co.jp